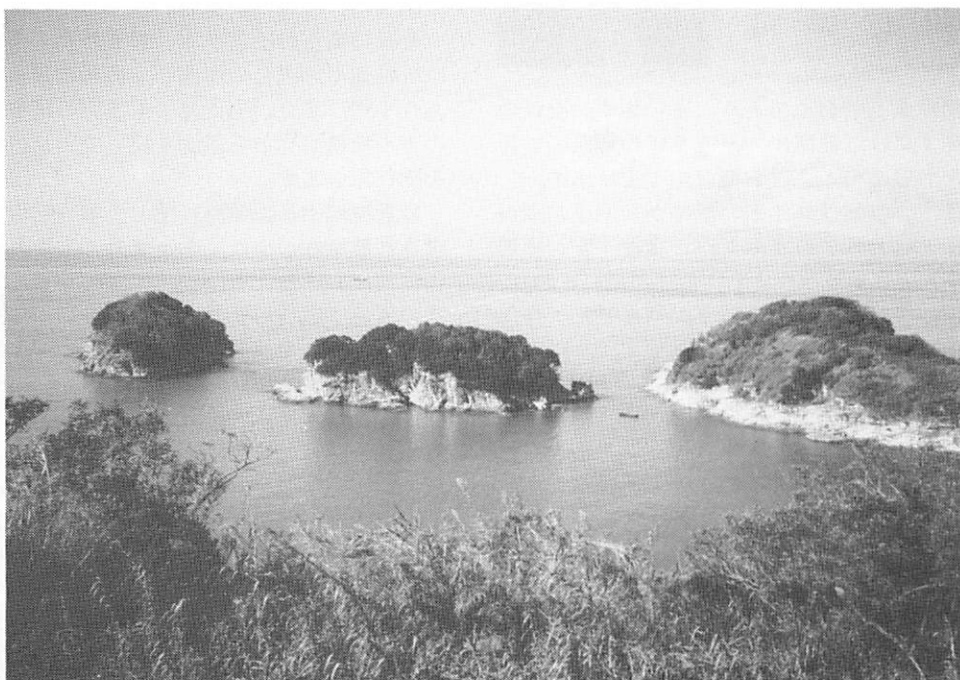


五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL.26-3600 FAX.24-1474



「雑賀崎燈台より双子島、紀伊水道を臨む」

目 次

新春随想..... 2	昔読んだ本を繙いて..... 5
新年のごあいさつ..... 2	極道募集..... 6
丑年生まれ..... 3	支部行事報告..... 7
年男・年女に当たる会員..... 3	新入会員..... 8
税理士とコンサル業務..... 4	委員会だより..... 8
将棋あれこれ..... 4	編集後記..... 8

年 頭 所 感

新春随想

和歌山支部長

川 邑 宗 司



明けましておめでとうございます。会員の皆さまにはご健勝にて平成 9 年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、景気は昨年来、緩やかな回復基調が続くと言われていましたが、金融不安、雇用不安などにより依然として低迷が続いており、景気回復の兆しが見えてまいりません。今年こそは期待のもてる年になりますようにお祈りしたいと存じます。

平素は、会務運営に何かとご協力を賜り誠にありがとうございます。

私達執行部の任期も残すところ僅かとなりましたが、年頭に当たりこれまでの反省をも込めて、今後の会務について二点ばかり考えてみたいと思います。

第一に、税務指導所の有効活用の問題です。

税務指導所は、税務援助を行うための専用の施設として支部の区域内に設ける（税務指導所管理運営要領）こととされています。税務援助は本来税理士会の自主独立方式が理想ですが、現実には種々の隘路があり、提携方式がとられています。

昨今では一般納税者のニーズに応じて、金融機関やデベロッパーが、税理士の派遣を得て各種の講演会・税金セミナー・説明会などを催している実状をみますと、折角設置さ

れている税理士会内の税務指導所を常に一般納税者の相談に応じられる場所として活用できる体制を整えることにより、税理士の社会性、公共性の実現の一端ともなり、業界広報の機会にもなると思います。

第二に、会員の研修の問題です。

会員の業務の改善進歩、資質の向上のために日税連や近税会の開催する各種の研修会があります。また、当支部でも本会の研修部員の方や税務当局から講師を招いて実務研修会を開いています。

最近税理士が、業務に関して損害賠償を請求される事件が少なくありません。これは委任契約における、専門家としての善管注意義務の債務不履行による損害賠償責任を追求されてのことです。消費税、資産税に関するものが大半を占めているそうです。

税理士は常に専門家としての資質の向上に努め、依頼者の税負担が最小限になるように注意を払いつつ、同時に、租税に関する法令に規定された適正な納税義務の実現を図らなければなりません。したがって、特に租税に関する実務面について研究し、情報を得るために税務当局との間に定例的（2カ月～3カ月に1回程度）質疑応答などを交えた実務研修の機会を設けたいと思います。

間もなく税理士事務所にとっては超繁忙期を迎えます。また、例年通り地区納税相談が始まり、会員先生方のご協力をお願いすることになりますがどうか宜しく願いいたします。

この新しい年が会員先生方の益々のご健勝とご事業の発展の年でありますよう心からお祈り申し上げます。

新年のごあいさつ

和歌山税務署長

佐 野 信 重



近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては、希望に満ちた平成 9 年の新春をお

健やかに迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり謹んでごあいさつを申し上げます。

平素は、会員の先生方には税の専門家として、税務行政に対しまして深い御理解と多大なる御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

お陰様で、署務運営も順調に推移しており、ここに厚く感謝申し上げます。

新しい年を迎え、私どもといたしましては

国民から信頼される税務行政の推進に向け一層の精進を重ねてまいる所存であります。

さて、最近の管内の景気は、緩やかながらも回復基調の兆がうかがわれていたところですが、昨年11月の阪和銀行の業務停止により、先生方の仕事にも少なからず影響が及んでいるのではないかと、懸念しているところであります。

ところで、最近の税務を取り巻く環境を見ますと、経済取引の広域化・複雑化、国際化、更には高度情報化の進展などにより質量両面にわたって一段と厳しさを増しております。

また、税制面につきましては、21世紀の高齢化社会の到来を目前にして、これに即応すべく税制改正が進められる中、国民の税に対する関心は一段と高まっております。

このような状況の下、私ども税務に携わる者としては、「適正・公平な課税の実現」と「期限内収納の確保」という私どもに課せられた使命の達成を図るため、経済情勢の変化を十分見据えた署務運営に配意し、納税者に信頼される税務行政の確立に努めなければならないと考えております。

更に、月が変わりますと確定申告期を迎えることとなりますが、税の専門家として豊かな経験と高い見識をお持ちの先生方の今後ともなお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、新しい年が近畿税理士会和歌山支部のますますの御発展と、会員の先生方の御繁栄の年であることを祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

丑年生まれ

税対担当副支部長 下 林 善 信

本年は4回目の年男である。実際に生まれたのは年の暮れであるが、1月1日元旦を誕生日として届けている。出生の場所や時間を戸籍に書く現在においてはとうてい考えられないことだが、2月29日生まれの人も28日と届けたり、そのまま29日と届ける人もあるという。4月1日生まれについても同じことがいえるようだ。誕生日で一番多いのは1月1日生まれである。私のようにめでたい元旦生まれとして届けた者もあれば従弟のように本当に元旦の朝に生まれた者もいるためであろう。誕生日にしてこのとおりであるから私は暦を見るときは常によい方で見ることにして

いる。又物事についても同じ考えを持っている。たとえば鏡が割れたりお守りが壊れるなど一般的には不吉なことを感じさせることが生じたときも大難が小難で済んだと考える。すべてプラス思考である。但ししばらくは注意しながら過ごすこととしている。

税理士試験合格から20年目に当たる今年が年男ということであり、改めて月日が経つのは速いものだと感じている。一つの節目でもあらうと思われる今年の年頭に当たり、人に対しては奢ることなく、物事に対しては悔やまず言い訳せず愚痴を言わず、又仕事に対しては常に努力し、今後の税理士業務をおこなって行きたいと思っている。

日々の忙しさにかまけ忘れがちであるがこれを信条とし、初心に立ち返り努力していきたいと考えている。

＝ 年男・年女に当たる会員 ＝ (入会順・敬称略)

鎌	田	富	夫	谷	久	保	幸	一	神	下	邦	義
阪	本	充	男	松	本	芳	廣	廣	宮	田	幹	夫
小	川	清	廣	田	中	山	等	弘	中	谷	正	宣
辻	本	進	一	小	山		弘	郎	山	西	良	子
田	村	弘	見	岡		亦	一	郎	北	山	和	信
岡	田	泰	介	大	亦	増	夫	夫	道	下	悦	子
宮	本	富	雄									
中	村	善	胤									
下	林	善	信									
野	口	浩	史									

以上22名



当り年
おめでとうございます。

税理士とコンサル業務

岡 平 蔵

税理士とコンサル業務は概して合わないと思はれる。私には思わぬ。「概して」と断ったのは100%でもないからだ。では何故合わないか、それが小論のテーマである。

私の友人に、同志社で英文科に籍を置く教授がいる。彼はある時私に次のように言った。「教師には2つのタイプがある。1は総論から各論へと講義を進める人と、もう1つは現物から各論へ、各論から総論へと進めるタイプである。前者はえてして印刷物を追っ掛けて勉強するタイプ、後者は現場へ足を運んで現物から学ぶタイプの人である。」いうまでもなく、学生に人気のあるのは後者だ。

ところで、税理士は典型的に印刷物に頼らねばならない業種だ。ほんとは、印刷物で知識を吸収し、その適合方法を現場から学ぶというのが理想的だが、どうも印刷物に偏ってしまうというのが現実だ。

コンサル業務に「3ゲン主義」とか「5ゲン主義」とかいう言葉がある。現物、現場、

現実、或いはそれに加えて原理、原則を重視せよということである。あるスーパー・マーケットの社長が、最近東京からコンサルタントを招いて指導を受けたことがある。彼が驚かされたのは、他のスーパーの情報を徹々細々極めて興味深く話した後、売場へ出て陳列の仕方、照明の在り方を指摘、さらに調理場へ入って魚や肉への包丁の入れ方を居並ぶプロに教えたという。

税理士はその点やはり数字に頼り、印刷物をその原点とする宿命から脱却するのは難しい。「これからのわが国の景気の動向は・・・」などという域を出ないのである。ただ断っておくが、私は理論性や科学性をいささかも軽視するものではない。この小論における問題提起は、それを前提としてのことなのだ。

コンサルに求められるものは、船井氏がいう「即効性」であり「わかりやすさ」であり、その原点は徹底した現場主義にある。その意味で、税理士とコンサル業務は合わないと思はれる。もちろん冒頭で断ったように、稀れに合う人もいる。その人はいうまでもなく勝者でありチャンピオンだ。

将棋あれこれ

福 井 眞 八

毎朝「ふたりっ子」がテレビで放映されている。その筋書の主流は双子の内一人が女流棋士になって将棋界に発展する過程を描き、これに対して興味を持ちながら観覧している。

将棋は江戸時代から大衆娯楽として庶民の間で親しんで来たもので、これに対する物語や落語が相当あるのは周知の通り。戦前には小説家と云った頃角田喜久雄さんの「風雲将棋谷」「妖棋傳」といった将棋の歴史を織り込んだ時代小説で、その頃は映画になった事もあった。だが現在に至っては知っている人は少ないだろう。

戦後凡俗市井の草履職人で将棋道から一躍知らぬ者なしになった「坂田三吉」であろう。これは大阪新世界の通天閣と共に目を付けた作家北条秀司さんの「坂田三吉物語」が生みの親である。これを映画にしたいと考えたのは当時映画界の大御所「伊藤大輔」さんである。早速これを脚本に書いて大映の社長

「菊池寛」さんに映画化を求めたが、将棋に詳しい彼は将棋は映画向きでないと反対、伊藤監督は将棋の勝負でなく、人間関係を描き度いのだと社長に許可を得るために脚本を実に九度も書き直し、その熱心さに社長も根負けしてOKを出した。伊藤監督は、その責務の重大さを考慮、それまでは時代劇の王者阪東妻三郎を坂田三吉に、その妻小春を水戸光子、娘の玉江に三条美紀、そのライバル関根名人に滝沢修、脇役に小杉勇、大友柳太郎と当時の豪華キャストで勝負に臨んだ。その結果は大ヒットであった。これと同じ頃新国劇では三吉に辰巳柳太郎、関根に島田正吾と二本柱で、これも大阪歌舞伎座で大盛況だった。辰巳の三吉が東京で大勝負の際、妻小春が危篤の通知に仰天して電話にしがみついて「死んだらあかん」と懸命に南無妙法蓮華経とお題目を唱える姿に、劇と映画も共に涙を誘う名場面であった。

これは原作北条秀司さんの偉大なる筆の力で、それで王将は大人気となり、坂田三吉の名も一躍有名になったが、原作者は一部の通人のみ知っているに過ぎない。

同時に歌謡曲として「王将」は「吹けば飛ぶよな将棋の駒に、賭けた命を笑わば笑え」でヒットソングとなった。西条八十作詞、船村徹作曲、村田英雄さんが唄っている。これも村田英雄さんの声だけ頭に残っているが、作詞作曲の大先生二方は知らぬ人の方が多いと思う。かくて将棋は坂田三吉の名前と共に芸能界からも親しまれ発展し続けている。私の知っている範囲では、木村義雄さん、大山康晴さん、これも同期の升田幸三さんとの対決あり、将棋界を湧かせたのも記憶に残るところである。

その後若い層の天下となり、中原誠さん、谷川浩司さん及び羽生善治さんと現在に至っている。

最近「肩で風切る王将よりも……歩の無い将棋は負け将棋」と「歩」という題名で北島三郎さんが唄っているのをよく耳にする。

将棋は81枰の盤上で40枚、8種類の夫々性格の異なる駒で先に王将を詰める、即ち行き処がないようにしたら勝つゲームである。

若い頃私は下手の横好きで指した。近所や知人にはめったに負けなかったが、或る時大阪ミナミのクラブで少し遊んだ。相手は小学6年の子供で最初馬鹿らしいと思ったが手捌きがよい。一番は30分程で惜敗だが負ける速度が次第に早く5番目になると中押し負け10分と保たない惨敗振り、頭がおかしくなって止めてしまった。後刻尋ねたら「あの子は有名棋士門下でプロ2級です」と聞き、負けて当たり前と納得した。

将棋は何の仕掛けもなく、双方相互に駒を進めているのに、技の相違と実力の差が明瞭に勝ち負けが出来るから不思議なもの。そこが魅力で今日も隆昌している所以である。

「昔読んだ本を繙いて」

山西良子

小学生の頃から読書が好きで、十代、二十代と本の森を歩くような日々を過ごしました。小説やエッセイなどいろいろな本を読んで、人生の経験は少ないながらも共感し、感動していました。

太宰治の「人間失格」に自分自身を重ね合わせて見たり、坂口安吾の「墮落論」で既成概念を疑ってみたり、吉川英治の「宮本武蔵」の極限まで研ぎ澄まされたような剣の道、悟りを開くまでの武蔵の苦しみやロマンローランの「魅せられたる魂」のアンネットの自我に苦しみ不器用な生涯に深い感銘を覚えたものでした。

社会人になり、母となって子育てをし、また職業人として忙しく生活をしていると、いつのまにかゆっくりと本を読むということがなくなっていました。

そして今、人生の半ばにさしかかり、友人の病や死を聞いたりするようになったこの頃、再び昔読んだ本を繙いています。すると、あの頃は一体どこに共感を得たりしたのかと考えてしまう程、初めて読んだかのような新鮮な感激が広がります。

年齢を重ねるといことは若い頃には思いもよらなかった様々な立場からものを見るこ

とができるようになるということかも知れません。

先日、セネカの「人生の短さについて他二編」(茂手木元蔵訳)を読み返していて、前には気にも止めずに読み過ごしていた箇所には心惹かれる言葉がありました。

「大部分の人間たちは死すべき身でありながら、パツリヌス君よ、自然の意地悪さを嘆いている。その理由はわれわれが短い一生に生れついているうえ、われわれに与えられたこの短い期間でさえも速やかに急いで走り去ってしまうから、ごく僅かな人を除いて他の人には、人生の用意がなされたたとたん人生に見放されてしまうというのである。」

「人生は十分に長く、その全体が有効に費やされるならば、最も偉大なことも完成できるほど豊富に与えられている。

けれども放蕩や怠惰のなかに消えてなくなるとか、どんな善いことのためにも使われないならば、結局最後になって否応なしに気付かされることは、今まで消え去っているとは思わなかった人生が、最早すでに過ぎ去っていることである。」

今の年齢でこそ理解できる言葉かも知れません。何気なく、あるいは追われるように過ごしている毎日という時(とき)を濫費しないように心がけて、後半の人生を自分なりに精一杯生きていきたいと思っています。

極道募集 一和税会入会の勧め一

世話人 岩橋本博

和税会とは、ゴルフの好きな税理士の気軽なグループです。現メンバーは、近畿税理士会和歌山支部・海南支部・粉河支部の有志で編成されています。入会者は、平成8年12月末現在で約60名です。ゴルフコンペの開催は、県内ゴルフ場を中心に年数回行います。コンペ参加者は、1回当たり20名位です。私が入会した10年位前は、30名位参加していたのですが、なぜか現在少し減少し停滞気味です。私にとっては、世話人の一人として気がかりです。

参加費用は、年会費15,000円です。これでコンペのすべての運営費用をまかなっています。毎回のコンペの参加費用はいりません。開催が年数回ですから1回当たり3,000円位の負担です。

現在の世話人は、岩橋（和歌山支部）・森村（粉河支部）です。入会希望の方は、どちらかに連絡下さい。

入会の効能、効果、メリットは次のとおりです。

効能1：コンペ参加により、支部会員とすぐ仲良くなれる。特に、若い方には効果があり、先輩とゴルフを通し顔なじみになれる。

効能2：税理士はとかくデスクワークが多く、又、移動するのも車だけという人が多く、運動不足がち、コンペ参加により適度な運動量が確保できる。ただし、コンペ後の暴飲暴食は、逆効果です。

効能3：数理計算、条文解釈、立会い等、とかく税理士業はストレスがたまりやすい。これを多少なりとも解消するにはゴルフは最適です。

広々としたコースで全て（仕事も人間関係も）を忘れボールと戯れられる。

効能4：ゴルフは死ぬまでできる。病気でな

くごく普通の体調であれば80歳位の方でもプレイ可能であり、30歳で始めれば半世紀も楽しめる。

効能5：とかく日本人は極道を好むらしい。簿記3級よりも2級、1級になりたい。白帯よりも黒帯の上級者になりたいらしい。ゴルフはこの道を極める考え方にピッタリのスポーツである。

効能6：ゴルフには、HDCPというものがあり、初級者と上級者とが対等にプレイできるシステムがあるめずらしいスポーツである。

効能7：競争の好きな人には、チョコレートの取り合いというゲームも楽しめる。ただし、これが過大過剰になると人間のいやな面がでるので要注意。逆にストレスを発生させたまま帰宅ということになってしまう。

効能8：ゴルフのスコアは108、すなわち、HDCP36から始まる。これが普通である。しかしこれを無視し、120、130もタタク人もいる。彼は健康のためにプレイしているのだ。これも一つの極道である。

効能9：コンペに参加し、ゴルフの向上心、スコアはいま一つだが、19番ホール（プレイ後の酒、宴会）を楽しんでいる人もいる。

効能10：あらゆるスポーツには、ルールがある。もちろんゴルフにもある。ゴルフにはもう一つ第一章としてマナー編がもうけられている。ゴルフはこれを守らなければ危険なスポーツになってしまう。



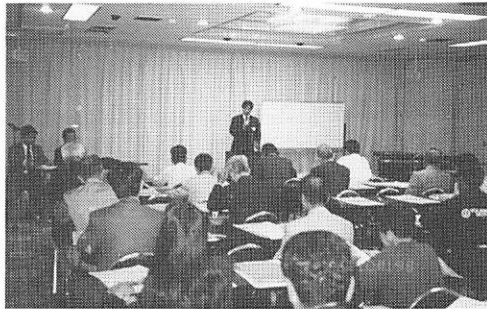
支部行事報告



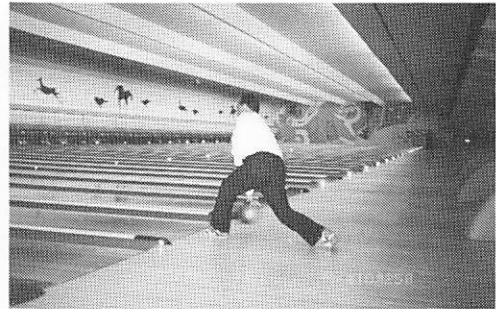
9月12日 実務研修会
(サンピア和歌山にて)



9月20日 定例協議会
(紀の国会館にて)



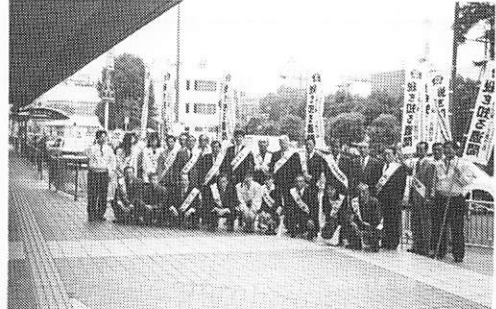
10月19日 税金ゼミナール
(紀の国会館にて)



10月25日 ボーリング大会
(インターボウルにて)



11月1日 優良事業所見学研修会
(東洋精米機製作所㈱にて)



11月8日 「税を知る週間」
街頭キャンペーン



11月13・14日 「税を知る週間」無料税務相談
(丸正百貨店にて)



12月12日 年末懇親会
(紀の国会館にて)

◆◆◆新入会員ご紹介◆◆◆

入会

成川 茂

(事務所)和歌山市吹上1-3-10

ビュロデボワァ202

会員数	9年1月15日現在 228名
-----	----------------

◆◆◆委員会だより◆◆◆

◎業務委員会

新書籍の備え付け紹介

○資産税実務取扱全集(全3巻)

[譲渡、取得(法人、個人)、相続、贈与、地価税、財産評価、登録免許税、事業所税]

○法人の土地税制

○不動産の評価権利調整と税務

○地方税取扱いの手引

○協同組合の会計と税務

事務局に備え付けていますので、日常業務にご利用下さい。(短日の貸出も致します)

◎税対委員会

行事予定表

9年2月3日 確申期納税相談説明会

於 紀の国会館

4月17日 確申期納税相談検討会

於 税理士会館

◆◆ 編集後記 ◆◆

新年明けましておめでとうございます。

今年も「五十五万石」を一層お引立てくださいますようお願い申し上げます。

何かが始まるということは何かの一つ終わって行くことを意味します。

「冬来りなば春遠からじ」。自然界は事あるごとに教えてくれます。

心の中にも捨てるものがあってこそ、生まれてくる喜びがあります。

頭でっかちになって動きがとれなくなる前に、一やればできるさーです。健康に留意し、手に手つないで一緒に歩みたいものです。

会員諸子にとって今年が平穏ですばらしき年でありますように。

広報委員会

岡田(将)、岡野、中井(典)

